

2013年10月9日

各位

セクシュアル・マイノリティ事例研究会
平田 俊明

研修会のご案内

平素より大変お世話になっております。

私ども「セクシュアル・マイノリティ事例研究会」は、セクシュアル・マイノリティ（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー等）の心理臨床に関心を持つ心理臨床家が集まり、2009年より定期的に、事例検討を中心とするセミクローズドな研修会を開催しております。今年度より、事例検討だけでなくレクチャーを含めた研修会（ベーシック、ならびにアドバンス）を行なっており、これを機に、この領域に関心のある皆様方に広く参加していただければと思います、本案内をお送りする次第です。

このたび、2014年1月に「(アドバンスレクチャー第1回) セクシュアル・マイノリティにおける自傷、および依存症について」と題した研修会を行ないます。

セクシュアル・マイノリティの人々は、セクシュアル・マイノリティではない人々と比べ、自傷行為およびアルコールや薬物などの物質乱用・依存の割合が有意に高いという調査結果がいくつも報告されています。また、クライアントがリストカットなどの自傷行為を行なう背景に、本人がセクシュアル・マイノリティであるという要因が隠れている（が、なかなかそれが明らかにならない）という状況を見聞きすることがあります。

今回、講師として、お二人の先生にレクチャーをお願いしています。

お一人は、ゲイ・バイセクシュアル男性の健康問題に関して数多くの貴重な調査結果を発表しておられる日高庸晴先生。1999年より定期的に、ゲイ・バイセクシュアル男性を対象にしたHIV予防やメンタルヘルスの実態に関する全国インターネット調査を実施しておられます。

もうお一人は、自傷行為および薬物乱用・依存について、クライアントの実情にしっかりと沿った、臨床的に非常に有用な著作を公刊され、啓発的な発言を積極的に発信しておられる松本俊彦先生。セクシュアル・マイノリティの自傷や薬物乱用・依存の問題にも関心を持ち発言しておられます。

さらに、上記二つのレクチャーに加え、事例検討のセッションも予定しています。

多くの皆様方の参加をお待ちしています（お手数をおかけいたしますが、本研修会の案内をご周知いただくと幸いです）。ご不明な点などありましたら、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

連絡先：〒102-0074 東京都千代田区九段南4-6-1 九段シルバーパレス 509号

九段心理臨床オフィス内 セクシュアル・マイノリティ事例研究会 事務局

E-mail: smcs2013@yahoo.co.jp

(※セクシュアル・マイノリティ事例研究会についてのお問い合わせはメールでご連絡ください。)